

⑫ 公開実用新案公報 (U)

平2-138620

⑬ Int. Cl. 3

A 45 D- 33/36  
34/04

識別記号

J

庁内整理番号

8608-3B  
8608-3B

⑭ 公開 平成2年(1990)11月20日

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全2頁)

⑮ 考案の名称 化粧用塗布具

⑯ 実 願 平1-48028

⑰ 出 願 平1(1989)4月24日

⑱ 考 案 者 百 合 宏 哲 大阪府枚方市印田町13丁目26番23号

⑲ 出 願 人 紀伊産業株式会社 大阪府大阪市中央区本町1丁目3番20号

⑳ 代 理 人 弁理士 西 藤 征 彦

㉑ 実用新案登録請求の範囲

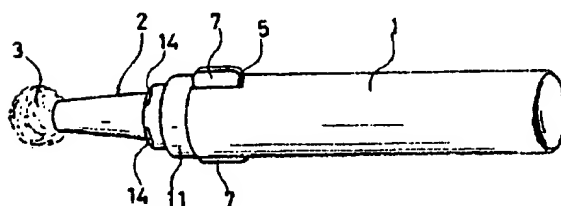
塗布具先端部2を収脱自在に内蔵する複数の筒状キャップ15と棒状把持部1を備え、上記棒状把持部1にはその前端面に凹部4を設けてその凹部4の内壁の相對峙する部分に切欠き部5を形成し、略U字状の弾性連結部6の両外側部に突設された押圧部7をそれぞれ上記切欠き部5内に位置させ外方に突出させた状態で上記弾性連結部6を上記凹部4内に配設して略U字の開放側を凹部4の開口から突出させ、上記弾性連結部6の略U字の両先端外側に被係合部10を設け、上記複数の筒状キャップ15内にそれぞれ収脱自在に内蔵された塗布具先端部2には、先端に塗布部3を形成するとともに、後端に上記弾性連結部6のU字の開放側が嵌挿可能な凹部12を設けてその凹部12の内壁面に、上記略U字の両先端外側の被係合部10と係合可能な係合爪13を形成し、複数の

筒状キャップ15のうち任意の筒状キャップ15内蔵の塗布具先端部2の係合爪13を上記被係合部10と係合させた状態で棒状把持部1を引っ張ることにより筒状キャップ15から塗布具先端部2を引き出し棒状把持部1に固着できるようにしたことを特徴とする化粧用塗布具。

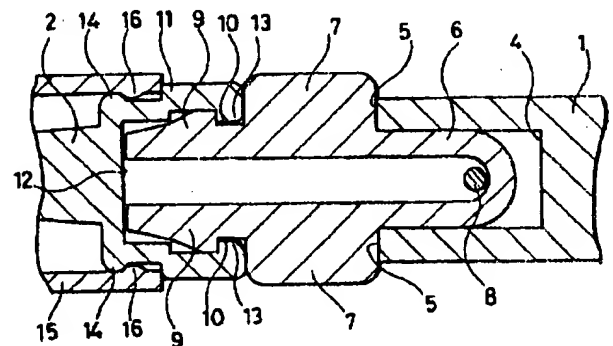
図面の簡単な説明

第1図はこの考案の一実施例の斜視図、第2図はその要部を示す縦断面図、第3図は連結状態のキャップを示す斜視図、第4図および第5図は把持部にチップを取り付ける状態を示す斜視図、第6図は把持部からチップを取り外す状態を示す斜視図である。

1……把持部、2……パウダーチップ、3……塗布部、4、12……凹部、5……切欠き部、6……連結部、7……押圧部、8……軸体、9……先端部、10……凹段部、13……突条。

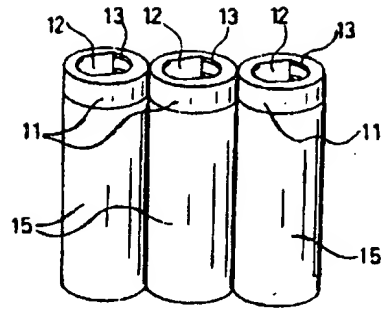


第1図

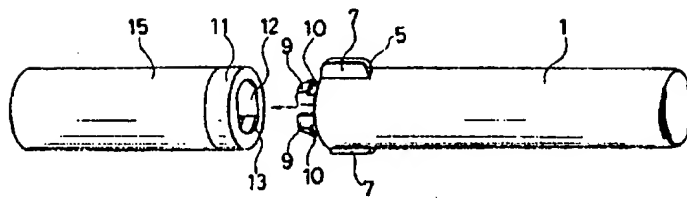


第2図

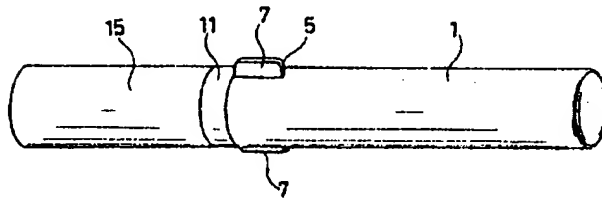
BEST AVAILABLE COPY



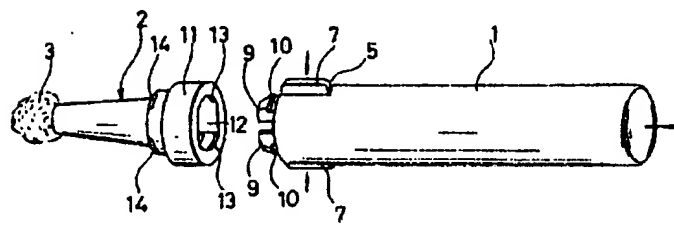
第 3 図



第 4 図



第 5 図



第 6 図

BEST AVAILABLE COPY